



自衛隊栃木地方協力本部

隊内生活体験で地方公務員職員の人材育成に協力

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、7月19日（水）、20日（木）の両日、宇都宮駐屯地において実施された栃木県上三川町役場職員を対象とした『自衛隊隊内生活体験』を支援し、隊内生活体験の円滑で安全な実施をアシストした。

上三川町は、防衛省・自衛隊に対する理解が深く、毎年、新卒採用職員を隊内生活体験に参加させていたが、コロナ禍の影響でしばらく実施することが出来なかった。今回、待望の4年ぶりの隊内生活体験となり、10名（男性4名・女性6名）が参加した。

生活体験の内容は自衛隊概要説明のほか、基本教練体験、救急法、護身術、隊内見学、宿泊体験、隊員との懇談などが計画され、参加者は当初大変不安そうな様子であったが、迷彩服を着用後は日常の社会生活では体験できない研修メニューに積極的に取り組む姿がみられ、懇親会では自衛官と和やかに交流するなど、自衛隊の任務や実際の姿を知ってもらえる機会にも繋がった。

終了後、参加者から「時間管理や規律厳守の大切さを改めて学びました」「チームワークの基礎となる団結心を今後の業務にも活かしていきたいです」などの感想が聞かれた。

真岡募集案内所は「今後も、自治体との協力関係を深め、さらなる自衛隊への理解促進・親近感の醸成を図れるよう自治体の要請に応えていきたい」としている。



緊張した面持ちで迷彩服を受け取る



止血法のレクチャーを受ける様子



救急法講習の様子

令和5年度予備自衛官補辞令書交付式及び即自訓練研修



令和5年度予備自衛官補辞令書交付の様子

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 恒一郎1陸佐）は、7月23日（日）、宇都宮地方合同庁舎内において、令和5年7月に採用された予備自衛官補7名に対し、辞令書の交付及び予備自衛官等の制度説明を実施した。また、宇都宮駐屯地において、第48普通科連隊第4中隊（相馬原）の支援を受け、即応予備自衛官の訓練研修を実施し、教育訓練参加意欲の向上や即応予備自衛官志願者獲得への寄与を図った。参加した予備自衛官補からは「実際の訓練等を見て常備自衛官や即応予備自衛官への志願意欲が高まった」などの声が聞かれた。

栃木県本では「今後も、思考を凝らしながら実施し、自衛隊への理解向上を図り志願獲得へ繋げていく」としている。



即応予備自衛官の訓練研修の様子